

注目ビジネス書の著者が解説

成功者の心得

失敗のしようがない 華僑の起業ノート(上)

商業民族の超大物ボスから教えられた
「条件が整つたのを待たな

世界を股に掛ける商業民族といえば？ そつ、皆さんが存じのどおり「華僑」と「ユダヤ」です。どちらも富豪の代名詞となっていますので、その成功法則を知りたい人は多いと思いますが、考えたことはあるでしょうか？ 自分に合っているのは華僑の教えか、ユダヤの教えか。私は縁あって華僑に弟子入りしたのですが、もしさうでなくとも日本人が学ぶべきはユダヤよりも華僑だと確信しています。なぜならば、ユ

ダヤは「白人のメリット」を
できるからです。
世界中どこへ行つても白人
さは圧倒的であり、日本人も
も白人ではない点で不利だと
ます。そんななかで華僑がす
るのは、白人のメリットがなく
ユダヤと肩を並べるほどに世
で成功を收めていることです。
華僑の勢力はアジア圏にと
らず、EUはもちろん、アメ
リカにも強い影響力を及ぼして

を享受する。アメリカには多くの華僑ロビイストが存在し、絶大な資金力でホワイトハウスに働きかけていますので、どこの国も華僑を無視しがいに動きはできなくなつてきていました。

でも世界中

資金力と書きましたが、華僑は最初からお金持ちというわけではありません。彼らの多くはもともと貧乏で、中国本土では生きていけず外へ出るしかなかつた人たちです。当然、ビジネスを始めるに

足る資金などありません。それなのに世界中どこでも必ず成功していくのが華僑の強さなのです。

私の師匠は華僑社会で知らない者はいないという超大物ですが、来日した当時はお金もなく、知り合いもおらず、日本語も分からない状態からスタートして財を築いたそうです。

そんなボスから教わった起業の

ものも多いようです。利益に結びつくかどうかはアイデアと思いつきの違いが分かっているかどうかです。アイデアは事実・現象から生まれますが、思いつきは感情から生まれます。これを判断基準のひとつとしてアイデアが固まつているのであれば、あとは動くのみですね

超大物ボスから教えられた
【整うのを待たな】

失敗のしようがない 華僑の 起業ノート

「儲け」を確実に生み出す
門外不出のノウハウ、
教えます。
したたかにビジネスを回していく
124の極意 日本実業出版社
定価一本100円(税別)

おおしろ・だい 医療機器販売会社、医療機器メーカーをはじめとするグループ5社のオーナー。サラリーマンをやめて起業するにあたり大物華僑に師事。日本人で唯一の弟子として門外不出の成功術を直伝される。独立後、社長1人アルハイトイ1人で初年度から年商1億円を稼ぎ出す。初の著書『一生お金に困らない「華僑」の思考法則』に続き、『失敗のしようがない華僑の起業ノート』を出版（ともに日本実業出版社）。

成功法則は「条件が整うのを待たない」こと。人、物、金、情報、すべての経営資源がそろうことなど永遠にないのだから、四の五の言わずにスタートして走りながら条件を整えていく。そして、修正していく。

日本人は当初のプラン通りにいかなければ失敗と捉えて落ち込ん

スタートして

走りながら修正

スタートして

走りながら修正